

東京都協会 会報

2008/8月 vol.6

社団 全国道路標識・標示業協会 関東支部

2008

Japan Contractors Association of Traffic Signs and Lane Markings

8月 vol.6

事務局・広報委員会

標示委員会

会員名簿

はじめに

02

03

04

06

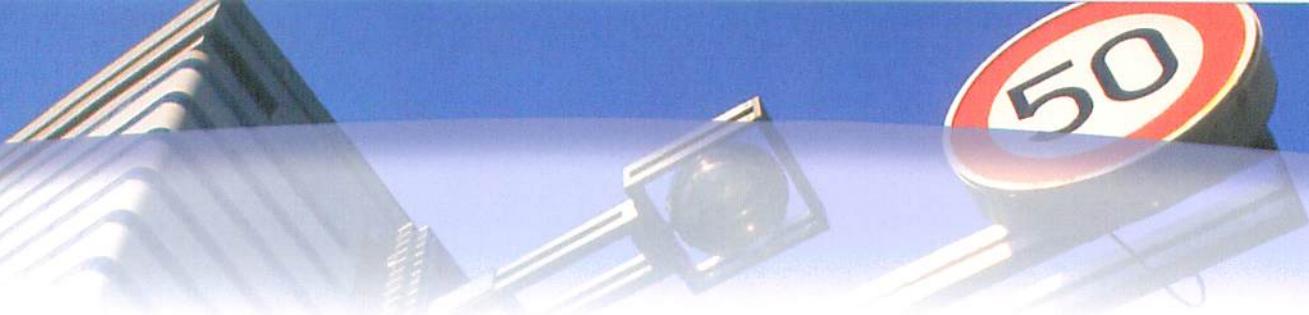
08

11

標識委員会

会員紹介





いま求められているもの

(社)全標協関東支部東京都協会 副協会長 小林浩明

現在、当業界をはじめとした建設業界はまさに氷河期の時代の真っ只中であり、公共事業の削減が叫ばれて久しく、また追い討ちをかけるごとく健全経営には程遠い低価格競争の嵐にもまれています。さらに米国のサブプライムローン問題に端を発し、石油関連並びに鉄鋼・非鉄金属などの主材料の異常高騰・円高ドル安・株安と企業収益は益々悪化が懸念される激動の今日です。

しかしながら、交通事故により全国で6000人近い人が犠牲となり、児童と高齢者の交通弱者対策・歩行者と自転車の分離等、交通安全施設においては国と地方自治体が連携し、第8次交通安全基本計画(死者5000人以下)に向かって新たな対策が必要とされています。

また、地球温暖化現象が叫ばれている中、今年7月に史上最大の22カ国が参加した『北海道洞爺湖サミット』が8年ぶりに日本で開催され「温暖化ガスを2050年までに半減する」という地球温暖化対策を全世界で共有することとなりました。

東京都においても、「世界で最も環境負荷の少ない都市を実現する」という独自施策を打ち出されて、各方面にても環境の問題が大きく取り上げられてきています。

こうした新しい動きに当協会も敏感に反応し、交通安全施設の専門(2種)業者として様々な対策・製品を提案していくことが、その地位の向上及び市場の活性化に寄与し、「社会に貢献する企業集団」としての位置づけを確かなものにしていくことであると考えます。



今回は、いま当協会に「求められているもの・いまやらなければならないこと」について、日頃私なりに考えていること三点を述べさせていただきます。

(1)協会活動は(=)会員会社の通常(営業)活動である。

これは私の持論なのですが、(社)全標協の活動は決して特別なものではありません。普段の営業活動こそが協会活動であり、「東京都協会無くして(社)全標協無し」の誇りと自信が大切なのではないかと考えます。日本の首都東京の交通安全施設を担う我々にはまだまだやらなければならない提案活動は山積しています。出来る限り成功事例を共有して協会のメリットを生み出していきましょう。

(2)東京(地元)の「仕事を創る」意識を共有する。

大型更新時代(メンテナンス)を迎えると共に、第8次交通安全基本計画・自転車走行空間の整備・交通事故危険箇所対策・児童と高齢者の交通弱者(スクールゾーン事業)対策等に対応した仕事創りをみんなで実行することが不可欠です。

また、標識BOX(標識意見箱)を利用した日々の提案活動は誰もが出来、即効果の期待できる仕事創りの一つです。もう一度仕事を創る意識を共有しようではありませんか。

(3)NEW交通安全施設(新分野)への取り組み

ダーウィンの言葉に「最も強いものや、最も賢いものが生き残るのではない。最も変化に敏感なものが、生き残る。」があります。お役所が設計・積算し発注されたものをただ設置するだけが仕事であるという時代は終わりました。仕事に対しての付加価値を常に追求して、環境・リサイクル・太陽エネルギー・緑化・優しさetcに対して各自が需要創造(企画・提案)・進化が必要であることを強く意識して、都民(国民)の誰がみても評価される交通安全施設を目指す必要があります。平成20年度は「10年後の東京」への実行プログラム2008予算化がスタートした重要な一年です。

思いのまま上記の三点をあげさせていただきましたが、いま改めてこの仕事に携われることの有難み・やりがい、そして魅力を感じているところあります。当協会の各委員会においても会員内外の情報収集に努めると共にスピードと効率を高めつつ、全ての事業を「デッドライン化」した活動を目指したいと考えます。

『行動力と財を象徴する子年(2008)』も第2四半期に入り後半戦へと突入していき、本会報が発刊される頃は北京オリンピックの真っ最中かと思われます。東京都は2016年開催のオリンピック招致「立候補都市」として高評価により(選出承認されて4都市として)最終選考会に残りました。来年10月には是非東京が選出され21世紀の都市モデル実現に向けた先進的な取り組みが展開されることを祈ります。

結びになりますが、東京には夢があります。東京には我々業界の仕事が山積しています。『いま求められているもの』をみんなで共有して、当協会・当業界を発展させていきましょう。会員各位のご理解とご協力、益々のご発展を心より祈念いたしまして寄稿の結びとさせていただきます。

活動報告

事務局・広報委員会

平成20年度上半期主要活動報告

第27回通常総会の開催

平成20年4月17日(金) 箱根富士屋ホテルにて45社79名の参加をいただき開催しました。

〔議案〕

- 第1号議案 平成19年度事業報告の承認を求める件
- 第2号議案 平成19年度収支決算報告の承認を求める件
- 第3号議案 平成20年度事業計画の承認を求める件
- 第4号議案 平成20年度収支予算案の承認を求める件
- 第5号議案 役員1名退任に伴いその選出を求める件

上記議案を審議し、原案通り承認可決されました。

※新役員及び委員会構成についてはホームページ上に記載しております。



第27回通常総会

平成20年度安全管理講習会の開催

平成20年4月11日(金) 東京都トラック会館にて170名の参加をいただき開催しました。

○講師 警視庁交通部交通規制課 須賀 主査

戸張 警部補

森 副主査

八嶋 副主査

○特別講演「道路上における安全管理全般について」

関東地方整備局 道路部 交通対策課 後藤課長補佐

※上記内容でPM2:00よりPM4:00まで受講しました。



安全管理講習会

「路面標示と交通安全」vol.8を発刊

平成20年4月に、(社)日本交通科学協議会会長 日本大学名誉教授

大久保亮夫先生のご指導のもとに、P28に渡っての冊子を6,500部発刊

し、全標協本部を通じて全国に配布をいたしました。道路標示の塗り替えの判断について明確に提示をするには未だ不足である事は承知ですが、塗り替え時期の判断の一助になれば幸いであると思います。

協会員入会のご案内

神東塗料 株式会社(道路施設事業部長 高村英二)

有限会社 ヒット企画(代表取締役 藤嶋幸広)

ホームページの大幅刷新 <http://www.zenhyo-tokyo.com/>

過去の技術資料・会報も全てご覧いただけるとともに、会員各社の製品・工法を紹介しております。



活動報告

標識委員会

ドライバー運転行動の観点から見た夜間の道路標識に求められる明るさについて

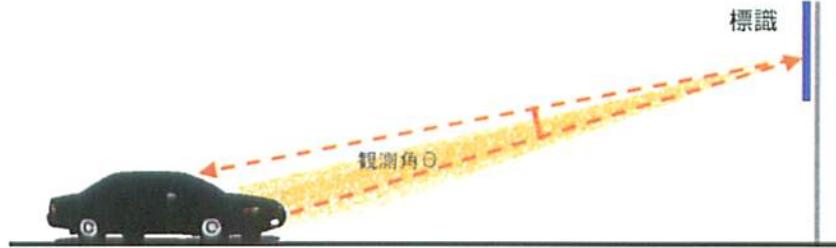
ドライバーは実際に道路標識をどの距離から視認・判読しているのでしょうか? 今回はドライバーの運転行動からその距離を割り出し、とくに夜間において、道路標識が視認・判読される距離で明るさを最大限発揮できる技術<広角プリズム型(フルキューブ)反射シート>をご紹介します。

夜間ドライバーが反射式標識を視認するときの見え方メカニズム

標識とドライバー・ヘッドライトの関係

反射式標識を見る場合は、ヘッドライト・標識・ドライバーの3点を結んでできる角度(観測角)が標識の見え方に大きく影響します。観測角は、車両が標識により近づいた場合や大型車から標識を見た場合に大きくなります。その影響で標識が視認しにくくなってしまいます。そこで ①ドライバーが実際に標識を読んでいるかを割り出し、②標識に必要とされる観測角特性を確認しました。

図1

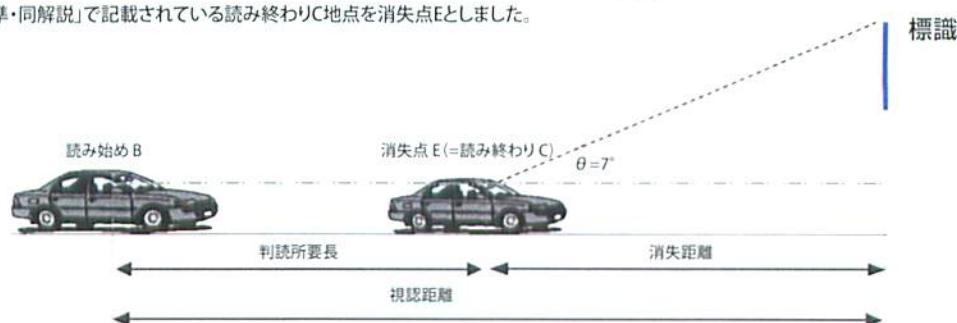


①ドライバーが実際に標識を読んでいるのはどこか?

「道路標識設置基準・同解説」によると、一般に走行中のドライバーは読み始めB地点から消失点Eまでの間(=判読所要長)で視認・判読していることがわかります^{*1}。では、読み始めBと読み終わりCの距離(=判読所要長)ならびに視認距離(読み始めBから標識までの距離)でシミュレーションするとどうなるか、確認してみましょう(一般道想定)。

*1 簡略化するため「道路標識設置基準・同解説」で記載されている読み終わりC地点を消失点Eとしました。

図2



視認距離は消失距離+判読所要長(=走行速度によって変化)によって表され、概ね表-1となり、ドライバーは消失距離と視認距離の間で標識を視認・判読していると言えます。

表-1

走行速度	40km/h	50km/h	60km/h
判読所要長 (判読時間 2秒の場合) ^{*2}	22m	27.5m	33m
消失距離 ^{*3}	48.9m	48.9m	48.9m
視認距離 (判読所要長 + 消失距離)	70.9m	76.4m	81.9m

ドライバーが実際に標識を視認・判読しているのは、概ね50~80mの距離であるといえます。

* 一定条件のシミュレーションのため、条件が変わると距離も若干変わりますが、概ね40~120mの範囲で視認・判読しているといえます。

*2 道路標識「交通工学23」(浅井信一郎(建設省)・内山茂樹(建設省)共著)より算出。

*3 「道路標示設置基準・同解説」より、消失距離はドライバーの視線と標識上端が作る角度が7°になったときの標識からの距離で48.9mとなる。



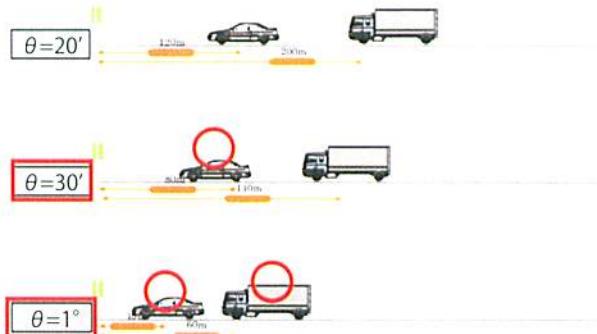
②ドライバーが、標識を視認・判読している50~80mでの観測角は?

標識板からの距離と観測角の関係をまとめると表-2の通りとなります。



表-2

車種	ドライバー視点 ～ ヘッドライト距離 (m)	観測角による視認距離(m)			
		12'	20'	30'	1.0°
乗用車	0.7	200	120	80	40
大型車	1.2	350	200	140	60



車種別 標識からの距離と観測角

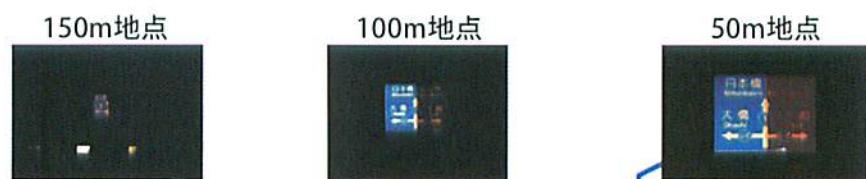
乗用車と大型車にて、実際に視認・判読に特に重要な50~80mは □・○ で記した箇所になり、観測角30'、1°に相当します。道路標識にとって特に重要なのが観測角30'、1°での条件であるといえます。

技術紹介: 視認距離に明るい道路標識を実現した広角プリズム型(フルキューブ)反射シート

広角プリズム型(フルキューブ)反射シートは、標識より50~80m地点(=観測角30'、1°)でも視認性をしっかりと確保しています。国土交通省が行った研究成果の報告書^{*4}の中で、道路ユーザーへのアンケート結果で85%の方が標識として好ましいと判断した明るさ35cd/m²(下表参照)を視認距離50m~120mにて確保し、従来カプセルレンズ型反射シートから格段の能力向上をはたしています。

*4 平成10年度「標識表示装置の高度化に関する検討業務」(建設省・九州地方建設局・福岡国道工事事務所・社団法人全国道路標識・標示業協会)

広角プリズム型(フルキューブ) [左]とカプセルレンズ型[右]との比較

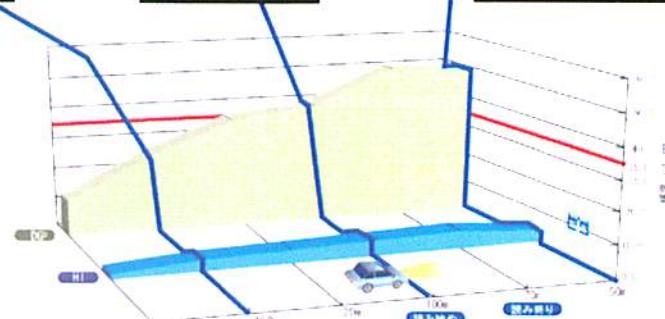


広角プリズム型(フルキューブ) 反射性能

*赤枠部分が車の走行条件とほぼ符号する箇所です

単位:cd·lux⁻¹·m⁻²

観測角	入射角	白	黄	赤	青	緑
12'	5°	570	380	75	50	70
	30°	235	190	45	16	25
20'	5°	400	280	54	30	50
	30°	170	140	20	12	19
30'	5°	300	230	45	30	45
	30°	170	140	20	12	19
1.0°	5°	120	70	14	5	10
	30°	50	40	8	2.5	5



広角プリズム型(フルキューブ)反射シートは、ドライバーの標識への要求性能である35cd/m²を視認・判読距離(50~80m=観測角30'、1°)で十分満足することが可能になった製品です。

活動報告

標示委員会

路面標示用塗料のJIS改正について (JIS K 5665:2008)

JIS K 5665(路面標示用塗料)は道路の区画線、道路標示に用いられる塗料に関する規格である。今回の主な改正は、揮発性有機化合物「Volatile Organic Compound (VOC)」発生を大幅に削減した水系路面標示用塗料の規格を追加した。その背景として平成18年に改正大気汚染防止法が施行され、VOCの排出濃度が規制されることとなった。路面標示用塗料においては有機溶剤が該当しており、溶剤系塗料に多量に使用されている。その大半が塗装後大気に放出されており、その対策として水等の非溶剤系、または低溶剤系の塗料が望まれている。

1. 改正の主な内容

① 路面標示用塗料の種類の追加

1種及び2種に水系路面標示用塗料が追加され、水を主な揮発成分とするビヒクルを用いる「A」と有機化合物を主な揮発成分とするビヒクルを用いる「B」に区分された。

表-1 JIS改正前の種類

種類	塗料の状態と施工の条件		
1種	液状で、塗料中にガラスビーズを含まず、常温で施工する。		
2種	液状で、塗料中にガラスビーズを含まず、加熱して施工する。		
3種	1号	粉体状で、塗料中にガラスビーズを15~18% (質量%) 含み、溶融して施工する。	
	2号	粉体状で、塗料中にガラスビーズを20~23% (質量%) 含み、溶融して施工する。	
	3号	粉体状で、塗料中にガラスビーズを25%以上 (質量%) 含み、溶融して施工する。	

表-2 JIS改正後の種類

種類	塗料の状態及び施工の条件	
1種	A	水を主な揮発成分とするビヒクルを用い、塗料中にガラスビーズを含まず、常温で施工する液状塗料
	B	有機化合物を主な揮発成分とするビヒクルを用い、塗料中にガラスビーズを含まず、常温で施工する液状塗料
2種	A	水を主な揮発成分とするビヒクルを用い、塗料中にガラスビーズを含まず、加熱して施工する液状塗料
	B	有機化合物を主な揮発成分とするビヒクルを用い、塗料中にガラスビーズを含まず、加熱して施工する液状塗料
3種	1号	塗料中にガラスビーズを15%~18% (質量分率) 含み、溶融して施工する粉体状塗料
	2号	塗料中にガラスビーズを20%~23% (質量分率) 含み、溶融して施工する粉体状塗料
	3号	塗料中にガラスビーズを25%以上 (質量分率) 含み、溶融して施工する粉体状塗料

② 試験項目の追加

水系路面標示用塗料が追加されたことにより「低温造膜性」、「低温安定性」の試験項目が追加された。

③ ガラスビーズの外観・形状

JIS R 3301の1号の品質のものを使用すれば良いと判断され、3種の試験項目から削除された。



2.路面標示用塗料の品質

今回規定された路面標示用塗料の1種及び2種の品質を表-3に、3種の品質を表-4に示す。

表-3 路面標示用塗料1種及び2種の品質

項目	種類						
	1種		2種				
	A	B	A	B			
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく、一様になる						
密度(23°C) g/cm ³		1.3以上					
粘度 KU値	70~100		90~130				
加熱安定性	—		安定である				
塗膜の外観	正常である						
低温造膜性(5°C)	塗膜形成に異常がない	—	塗膜形成に異常がない	—			
低温安定性(-5°C)	変質しない	—	変質しない	—			
タイヤ付着性	タイヤに付着しない						
隠ぺい率 %	白	97以上					
	黄	80以上					
拡散反射率(白に限る) %		80以上					
にじみ	白	にじみがない					
	黄	にじみがない					
耐摩耗性(100回転について)	摩耗減量500mg以下である						
耐水性	異常がない						
耐アルカリ性	異常がない						
加熱残分(質量分率%)	60以上		65以上				
ガラスピーツ付着性	塗膜にむらなく付着する						
ガラスピーツ固着率 %	90以上						

表-4 路面標示用塗料3種の品質

項目	種類		
	3種		
	1号	2号	3号
密度(23°C) g/cm ³		2.3以下	
軟化点 °C		80以上	
塗膜の外観	正常である		
タイヤ付着性	タイヤに付着しない		
拡散反射率(白に限る) %		75以上	
黄色度(白に限る)		0~0.10	
耐摩耗性(100回転について)	摩耗減量200mg以下である		
圧縮強さ(23°C) kN/cm ³		0.802以上	
耐アルカリ性	異常がない		
ガラスピーツの含有量 %	15 +3 0	20 +3 0	25以上
屋外暴露耐候性	割れ、はがれ及び色の変化の程度が大きくない		



会員紹介

川口産業株式会社

所在地 本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-9 TEL/03-3254-1411

創業 1948年(昭和23年)

資本金 3,600万円

概況

“人にやさしく、街にやさしく”

「人にやさしく」とは人々が安心して生活できること。

「街にやさしく」とはその街の持つ個性を失うことなく、人が快適に暮らせる環境を整えること。

私たちはそのように考え、製品開発を進めて参ります。



川口産業株式会社

積水樹脂株式会社

所在地 関東支店 〒105-0022 東京都港区海岸1-11-1(ニュービア竹芝ノースタワー12階)
TEL/03-5400-1821 FAX/03-5400-1840

事業本部 〒105-0022 東京都港区海岸1-11-1(ニュービア竹芝ノースタワー5階)
TEL/03-5400-1801 FAX/03-5400-1805

本社 〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4(堂島閻電ビル6階) TEL/06-6365-3204 FAX/06-6365-7150
営業所 埼玉営業所・土浦営業所

創業 1954年(昭和29年)

資本金 123億3400万円

事業内容

自発光安全用品・LED電光表示板・防音壁・路面標示材・標識・パブリックサイン・防護柵・勾配自在柵・特殊柵・車止め・高欄・シェルター・組立歩道・照明灯・プラスチック擬木・オレンジウッド・公園資材

概況

暮らしの快適さや楽しさを求める「アメニティ」

地球環境との調和を考える「エコロジー」

地球らしさを大切にする「アイデンティティー」

3つのテーマをベースに、当社は、必要とされる資材アイテムの研究・開発、トータルな景観デザインの提案で美しい街づくり・安全な道づくりに貢献していきます。



交通安全施設株式会社

所 在 地 本 社 〒141-0032 東京都品川区大崎3丁目6番21号 TEL/03-3495-0821 FAX/03-3495-2876
営 業 所 横浜営業所

創 営 1963年(昭和38年)

資 本 金 2,000万円

事 業 内 容 道路標識・道路標示・すべり止め舗装・防護柵・交通信号機 その他
交通安全施設用品全般の販売

概 况

設立以来40年余り、交通安全施設の専門業者として交通事故防止に全力をそそぎ、安全施設に関する技術を発展させるよう、努力して参りました。新しい発想と旺盛なチャレンジ精神をもって、お客様のニーズに応えられるよう精進してまいります。今後も社員一丸となり社会貢献できるよう頑張って参ります。

日本ハイウェイ・サービス株式会社

所 在 地 本 社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目6番3号(新宿国際ビルディング新館2階) TEL/03-5325-5563 FAX/03-5325-5575
支 店 神奈川支店・仙台支店・名古屋支店・大阪支店・京都支店
営 業 所 千葉・埼玉・岐阜・東海・東濃・八幡・伊賀・三重・和歌山・奈良・南大阪・盛岡

創 営 1963年(昭和38年)

資 本 金 5,000万円

事 業 内 容

- 道路環境整備並びに維持管理事業
(道路清掃・下水道管渠清掃・除雪、融雪、雪氷対策等の施工・道路付属施設の整備施工・道路補修工事の設計施工・道路の総合メンテナンス・地下鉄内工事請負全般)
- 造園緑化、土木工事の設計施工の請負
- 下水道管更正工事、TVカメラ調査等の施工請負
- 管理業務
(有料道路・駐車場の受託請負・建物清掃・総合管理・警備業の総合請負)

概 况

道路の環境設備を事業の柱としてスタートした当社は、さらにそこで培った技術と実績を基に、積極的に事業分野の拡大に努めてきました。現在では、道路(一般道・高速道路)・公園・下水道・河川・地下鉄・空港・ダム・ゴルフ場・オフィス・マンションなど人々の生活環境を守るべく、様々なシーンで活躍をしています。今後も、皆様のお力を借りしながら更なる飛躍を目指してゆきたいと思います。





会員紹介

三協ライン株式会社

所在地 本社 〒192-0362 東京都八王子市松木34番地3 TEL/0426-75-8232

創業 1981年(昭和56年)

資本金 1,000万円

概況

創業以来26年、交通安全施設事業を通じて社会の安全及び環境の整備に取り組んで参りました。また、CO₂削減のため発電式メルト二eterangan車の早期導入やエコアクション21の取り組みも準備中です。今後も環境にやさしく安全を通じて社会に貢献する企業造りに邁進していく所存です。



株式会社ロードテック

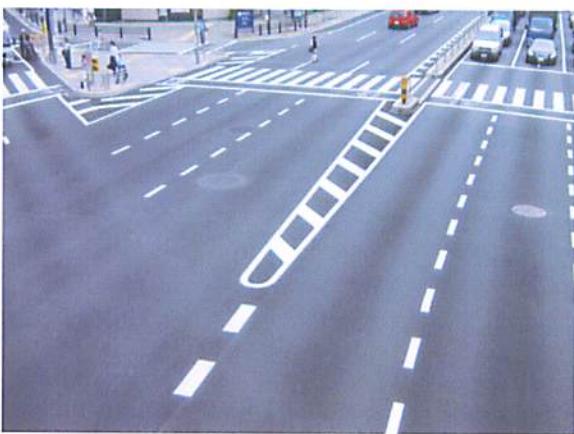
所在地 本社 〒123-0841 東京都足立区西新井4丁目14番10号 TEL/03-3855-2680

創業 1984年(昭和59年)

資本金 1,000万円

事業内容

道路標示・区画線 すべり止め舗装 道路標識 防護柵 道路反射鏡
視覚障害者用道路施設
その他交通安全施設の設計施工





会員名簿

事務局: 〒102-0083 千代田区麹町4-2-6 第2泉商事ビル2F TEL:03-3264-5756 FAX:03-3264-5772

正会員(31社)

会社名	郵便番号	住所	電話番号
(株)アークノハラ	160-0022	新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル	03-3351-9301
(株)吾妻商会	104-0031	中央区京橋2-4-12 京橋第一生命ビル3F	03-3271-2371
アトムテクノス(株)	101-0043	千代田区神田富山町18	03-3256-5450
川口産業(株)	101-0047	千代田区内神田2-7-9 浅野屋ビル	03-3254-1411
(株)キクテック 東京支店	125-0062	葛飾区青戸8-2-18	03-3690-1501
協和産業(株) 東京支店	153-0052	目黒区祐天寺2-15-17	03-3792-3388
(株)倉本道路	170-8417	豊島区東池袋3-7-4	03-3989-6736
交通安全施設(株)	141-0032	品川区大崎3-6-21 ニュー大崎	03-3495-0821
交通企画(株) 東京営業所	173-0001	板橋区本町38-6サンパレス本町2F	03-3579-3930
交通産業(株) 東京支店	113-0033	文京区本郷5-28-1-3F	03-3815-7437
三和工営(株)	167-0052	杉並区南荻窪1-9-17	03-3333-1524
信号器材(株) 東京支店	101-0041	千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル6F	03-3252-5121
セイトー(株) 東京支店	101-0043	千代田区神田富山町24 神田富山町ビル5F	03-3251-2651
積水樹脂(株) 東京支店	105-0022	港区海岸1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー12F	03-5400-1821
セフテック(株)	113-0033	文京区本郷5-25-14 本郷THビル	03-3811-8185
(株)全工	179-0081	練馬区北町8-10-11	03-3931-4811
第一標識(株)	144-0034	大田区西糀谷4-17-15	03-3744-5121
中央塗料工業(株) 東京支店	144-0052	大田区蒲田4-15-10 カーサ蒲田第二202	03-3738-6590
豊田(株) 東京営業所	158-0097	世田谷区用賀2-36-15 ヴィラアートビル4F	03-5716-5661
日本安全(株) 東京支店	170-0013	豊島区東池袋3-10-4	03-3985-7131
日本ハイウェイ・サービス(株)	160-0023	新宿区西新宿6-6-3 新宿国際ビル新館2F	03-5325-5563
(株)日本パーカーライジング広島工場 東京支店	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷5-29-11 ナカニシビル4F	03-3351-6611
(株)日本ボーサイ工業	183-0052	府中市新町1-71-1	042-362-7195
日本ライナー(株)	135-0047	江東区富岡2-1-9 NV富岡ビル3F	03-5646-2311
ニュース産業(株)	183-0012	府中市押立町2-26-11	042-334-8838
保安工業(株) 東京支店	141-8702	品川区北品川5-5-22	03-3443-6401
(株)ミズホライン	190-1222	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原1-4	042-557-1666
宮川興業(株) 東京支店	150-0002	渋谷区渋谷1-20-1 三進ビル4F	03-3407-1002
(株)ユタカ産業	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ202	03-5338-6543
ライン企画工業(株) 東京支店	160-0023	新宿区西新宿6-12-7-409	03-3348-7971
ラインファルト工業(株) 東京支店	144-0033	大田区東糀谷4-1-4	03-3743-5061

賛助会員(23社)

会社名	郵便番号	住所	電話番号
アトミクス(株)	174-8574	板橋区舟渡3-9-6	03-3969-1552
(株)アルファー企業	167-0022	杉並区下井草3-36-1	03-3394-6161
東興業(株) 東京営業所	121-0836	足立区入谷7-18-18	03-5691-1010
イワブチ(株)	271-0064	松戸市上本郷167	047-368-2221
(株)エール 東京支店	175-0082	板橋区高島平9-13-9	03-3598-0245
協和産業(株)	154-0004	世田谷区太子堂5-17-18	03-3488-0640
笛沼物産(株)	120-0003	足立区東和2-5-6	03-3605-4775
(株)サンエイ企画 東京営業所	125-0033	葛飾区東水元2-36-17	03-5660-3984
三永商事(株) 東京営業所	173-0001	板橋区本町38-6 サンパレス本町2F	03-3579-8428
三協ライン(株)	192-0362	八王子市松木34-3	0426-75-8232
(株)三工社	151-0072	渋谷区幡ヶ谷2-37-6	03-3377-4133
(株)サンデンコー	165-0023	中野区江原町2-20-15	03-3954-8511
神東塗料(株)	136-8611	江東区新木場4-12-12	03-3522-2353
住友スリーエム(株) 交通安全システム事業部	101-0065	千代田区西神田3-8-1千代田ファーストビル東館	03-5226-1678
(株)トウペ 道路塗料部 東京営業課	110-0015	台東区東上野6-16-10 KBUビル	03-3847-6514
日鉄防蝕(株)	101-0032	千代田区岩本町2-11-9	03-5820-4671
日本地工(株) 第二事業本部	334-0075	川口市江戸袋2-1-2	048-283-1111
日本ロードマーク(株) 東京支店	157-0067	世田谷区喜多見8-11-18	03-3417-5658
野原産業(株) 都市環境事業部	160-0022	新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル	03-3357-2510
(有)ヒット企画	125-0032	葛飾区水元3-6-8	03-5660-1455
双葉ライン(株)	125-0031	葛飾区西水元3-9-16	03-3608-9191
ヨシモトボール(株)	100-0006	千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル	03-3214-1552
(株)ロードテック	123-0841	足立区西新井4-14-10	03-3855-2680

Water Jet Peeler System

道路にやさしい超高圧水ライン消去工法

- 東京都新技術情報登録 No.0401042
- 国交省 NETIS 登録 No.CG-030020
- 実用新案登録 No.2003-270957



安全と環境を考えて
人と街にやさしい工事です

宮川興業(株)東京支店 TEL:03-3407-1002
<http://www.miyagawa-co.com/>

発電式メルトニーダー

ガスから電気へ…

- 東京都新技術情報登録 No.0501025

新登場

発電式メルトニーダー[®]
(MSN-150)
低床型の小口工事タイプ



Scotchlite™

ダイヤモンドグレード

DG³反射シート

(広角プリズム型フルキューブ)

<Scotchlite><Scotchlite><3M>は、3M社の商標です。

◆ 住友スリーエム株式会社

交通安全システム事業部

本社 158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1

究極の反射シート DG³ ついに完成。
(ディージー・キューブ)

「スコッチャライト」反射シート「ダイヤモンドグレードDG³」は、フルキューブ構造を持つ広角プリズム型反射シートです。従来のプリズム型(三面体キューブ)の反射面が60%程度であったのに対して、

フルキューブはその効率的な部分のみを使用し、マイクロリフレクション(高精細反射)技術によって100%の反射面を実現しました。

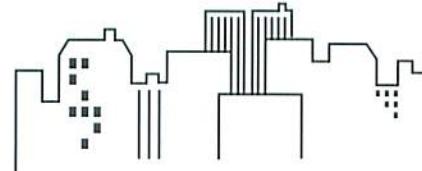
カスタマーコールセンター 製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-123 (通話料金は無料で市内料金でご利用いただけます)
カタログ等各種資料のご要望は
FAX 0120-282-369 <http://www.mmm.co.jp/ref/>

URL

3M



Heartfelt
Urbanization



社会と安全と環境に配慮した製品・工事をお届けします

野原産業株式会社 : 〒160-0022 新宿区新宿1-1-11友泉新宿御苑ビル3F TEL.03-3357-2510 www.nohara-inc.co.jp

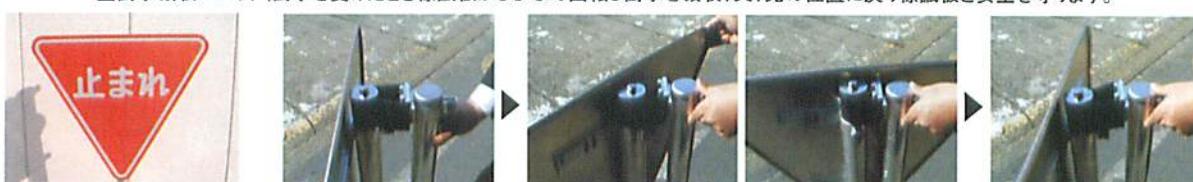
株式会社アークノハラ : 〒160-0022 新宿区新宿1-1-11友泉新宿御苑ビル3F TEL.03-3351-9301



保安工業株式会社 ISO 9001(BVQI) 取得

弊社は『安全・環境』にかかわる、さまざまな新商品の開発に取り組んでいます。

■衝撃吸収ユニット(衝撃を受けたとき標識板が90°まで回転し衝撃を吸収、又、元の位置に戻り標識板と安全を守ります。)



安全で快適な街づくり 一バリアフリー・ユニバーサルデザイン

安全・安心・快適を目指し、幅広い生活環境づくりのお手伝いをいたします。



溶融式カラー塗装

「ミストグリップ」(透水性・耐滑走行効果)

視覚的分離を図り、安全な通行空間の創造

国土交通省 NETIS 登録番号: KT-0101117



保水性複合平板

「セーフティ・アンチヒートブロック」

快適な歩行空間の創造と地球温暖化対策

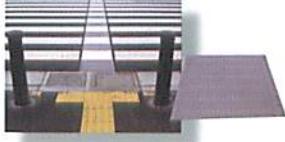
国土交通省 NETIS 登録番号: CB-050005



視覚障害者誘導用道路横断帯

「ガイドウェイライン エスコート工法」

横断歩道における視覚障がい者の一層の安全確保



SKT
スキット研究会

信号器材株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル6F
TEL 03-3252-5121 FAX 03-3252-5125
<http://www.shingokizai.co.jp>

株式会社キクテック

〒125-0062 東京都葛飾区青戸8丁目2番18号
TEL 03-3690-1501 FAX 03-3604-8373
<http://www.kictec.co.jp>